

中国語フィラー“这个”の使用法の分類に関する考察

A Study on the classification of Chinese Filler “zhege”

陳 海濤¹

¹九州大学 芸術工学研究院

Chen Haitao¹

¹Kyushu University

Siohara, Minami-ku, Hukuoka, Japan 815-0032

キーワード：フィラー，分類，使用法

Key words : Filler, Classification, Usage

抄録

近年、日本語のフィラーについての研究は盛んになっている。しかし、中国語のフィラーについての研究は、断片的なもので、十分重視されていない。本稿では、コーパスを使用し、中国語指示詞系フィラー「这个」を研究対象をとし、その使用法を分類する。

1. はじめに

中国語における「这」系列語において、こういう現象がある。「指示という機能が弱化する」、「同定する内容を持たない」、[音声上で、「zhe」から「zhei」と変わって発音する]、「外しても文の意味は変わらない」、「話し言葉では使用率が高い」、「話し手が発話したい内容を失念した時、談話上での調和のため、使用される」という特徴を持っている。

本稿では、近称指示詞から変容した指示詞系フィラー「这个」を中心に研究対象とする。フィラー「这个」に関する例文は「媒介言語コーパス」¹から収集し、話し手がフィラー「这个」を使用する際、どのような心内活動を取るかによって、その使用法を分類する。

2. 先行研究

2.1. 日本語におけるフィラーに関する先行研究

日本語におけるフィラーについての先行研究は、談話管理理論的立場から心的操作標識として捉えものに、定延・田窪(1995)、田窪・金水(1997)、大工原(2010)等が挙げられる。本稿では、日本語におけるフィラーに関する本稿と関連が深い先行研究、定延・田窪(1995)、堤(2012)に重点を置いて、紹介する。

定延・田窪(1995: 194)は、「あの(一)」の基

本的用法は下記のように述べている。

「あの(一)」は、話し手が言語編集という、聞き手の存在を予定する心的操作をおこなっている際に用いられる。

定延・田窪(1995: 194)によれば、「名前の検索」とは、「モノ自体はわかっているが、モノの名前が思い出せないという場合の心的操作」であると定義している。また、「適切な表現の検討」は「言いたいコト(これはすでに漠然とにせよ定まっている)に適した言い方を心的バフファで編集するという操作」であると主張している。

堤(2012)では、定延・田窪(1995)、田窪・金水(1997)の説に従い、「その(一)」は「言語編集中心であることを示す心的操作標識であるとする方向で」考察を行う。

さらに、大工原(2005)「言語的文脈の有無はフィラー「その(一)」の使用の自然さに影響する」への代替案を提言した。

何らかの状況により、話者が語彙や表現形式をより洗練されたものにしたたり、誤解を招かないようなものにしたたり等、より慎重な言語編集作業を行う必要に迫られたとき、ソノが使用される。

堤(2012: 199)

日本語におけるフィラーの研究は認知言語学的アプローチから、言語を表出するまでの心内の操作を明らかにした。例えば、「言語検索」、「心的計算」などの心内操作をとる。

今まで、中国語におけるフィラーの研究はそういうアプローチをとる研究者はいない。よって、本稿では、日本語のフィラーに関する先行研究の方法を借りて、中国語におけるフィラーを使用する際、話し手は心内で行われる心的操作により、フィラーの使用法を分析する。

2.2. 中国語におけるフィラーに関する先行研究

中国語におけるフィラー先行研究は簡潔に以下の三つの研究を紹介する。

① 蔡(2009:7)

蔡は、「“这个”は直前に言及したこと、発生したばかりの出来事を描写している時、話し手と聞き手とともによく知られている物事、認知できる出来事を描写している時に用いられる」と述べている。

② 郭(2009)

社会言語学の観点から「这个」、「那个」の使用状況を調査する。例えば、性別や、年齢層により、使用率に差があると指摘している。

また、北京語において、フィラー「这个」、「那个」は「訂正」や「話題転換」の機能があると指摘している。

2.3. 中国語の先行研究における問題点

郭(2009)はフィラー「这个」に関して、「発話(文)の編集」など(後文で詳しい紹介する)用法があることも指摘されていない。「発話編集中断」について提言した研究もない。

また、蔡(2009:7)の説にも経験の問題がある。直前に言及したことすべてに、フィラー「这个」が使用されるわけではない。また、フィラーの使用法における場面性が指摘されていない。よって、中国語におけるフィラー「这个」に関する研究は、先行研究においては、断片的なものに止まっている。

2.4. フィラーに関する定義

フィラー(filler)の定義は、研究対象や研究方法の相違により、一様ではない。どの定義が適切か、または、不適切かと言うことはできない。

大工原(2010:8-9)では、フィラーを下記のように定義している。

「考える」、「思い出す」、「言葉を選ぶ」など、話し手が何らかの情報処理的な心身行動を行っている最中に典型的な発話される感動詞の下位類である。

本稿では、フィラーは「情報処理的な心身行動を行っている」同時に、「心的な状態を反映する言語化された音声表記」であると考えられる。よって、研究方法や研究内容を出発点とし、上記の先行研究の中で、大工原(2010)の定義を参考にして、下記のように定義する。

話者が心的情報を処理する際に、用いる場つなぎ的な言語表現で、心的な状態を反映する言語化された音声表記である。

2.5 フィラー「这个」の判断基準

フィラー「这个」が指示詞として使用されるのか、あるいはフィラーとして使用されるのか判断しにくい場合がある。しかし、フィラー「那个」に関して、そういう現象は見られない。よって、指示詞に関する判断基準を下記のように決める。

- ①名詞の前に出現する。
- ②指示対象が存在する。
- ③発話する際、ポーズはない。

3. 中国語フィラー“这个”の使用法に関する考察

フィラー“这个”は基本的に「言い淀み系」に属している。フィラーは発話者が発話する際、発話者の心の鏡に反映している内容が言語化されたものである。話し手はフィラーを使用する際に、話し手の心内活動を暗示的に聞き手に通知する。聞き手も話し手の表情などという非言語的なものと文脈という言語的なものを通して、話し手の心内活動を推測する。

フィラーは内容語として捉えられないで、実質的な意味を持たないと同時に、話し手が発話

する際に、心内で行われる活動を聞き手は一定の意味を持っている語として捉えられる。よって、フィラーは無意味語ではなく、内容語でもない。話し手の心内活動を反映するコンテキストから付与された意味を持つ語で、意味を持っている語と無意味語の中間的な存在であると思われる。

フィラーとは、言語を表出するまでの心内で行われる一連の心的処理が言語の形で示されるものであるとしている。言語表出のプロセスとして、記憶要素などによる名前の検索・頭に格納された要素による組み立て・計算・推測・演算などの形での言語表出が観察される。

本稿では、コーパスを利用し、例文を収集して、以下のような用法を掘り出した。

3.1 発話編集中断²

話者がフィラーを使用する際、発話編集を中断する要因は二つあると考えられる。それぞれは、客観的な原因と主観的な原因で、発話編集を中断すると考えられる。

3.1.1 知識がないための発話編集の中断

(1)A:你知道鸡生蛋, 还是蛋生鸡呢?

B:这个...

(訳文)A:卵が先か、鳥が先か。どう思う。

B:さあ

(作例)

「卵が先か、鶏が先か」という哲学上の問題は、検討し続けなければいけない「終わりなき問題」である。話し手にとって、答えがないためどう答えるかわからないので、回答不可能で客観的な原因で発話編集を中断する。フィラー“这个”を使用し、自分が「答えられない」という心的表情を相手に表明する。

ここでは、“这个”の使用は指示詞との関連があると思われる。まず、フィラー“这个”は相手Aからの質問を指し、その質問を受けたということを表明する。また、自分に対する質問で、話し手にとって心理的に近いので近称系指示詞“这”から変容したフィラー“这个”を使用する。

3.1.2 知識があり、自主的に発話編集の中断

(2)記者: 您这个通知是什么时候发的?

张家祥: 这个.....这个, 我现在有事情, 好不好啊, 再见。

中央人民广播电台「新闻纵横」

(媒介言語コーパス)

(訳文)記者: そのお知らせはいつ発表されたんですか。

張家祥: それは...今用事がありますから。では、失礼します。

相手の質問は話し手を窮迫な境地に陥らせる。よって、話し手は答えにくい(答えたくない)ので答えることを回避する。フィラー“这个”を使用し、記者の質問をごまかす。

この例文で“这个”は「(それは) 言えない/言いたくない」という内容語と入れ替えることが可能である。ただし、ニュアンスには差がある。なぜかという点、それは、話し手は「(それは) 言えない/言いたくない」という内容語を使用するより、直接に断ることを避け、自分が答えにくい(言いたくない)内容を婉曲に表現できるからである。

例(1)と例(2)が示しているのは、フィラーは指示詞からフィラーへと変遷するうちに、中間過程が現れることであると考えられる。

まず、指示詞としての機能が残っている。“这个”は前の質問を指す。しかし、“这个”は指示詞としての機能が弱くなる。というのは、指示詞の場合、話の後半に述語が必要であるからである。例(1)では、“这个.....”で、例(2)では、“这个.....这个”は述文を持っていない。

次はフィラーとしての用法は発話者の心内活動を相手に示し、相手がある程度で発話者の意図を推測するという点も観察できる。そのため、「発話編集中断」という用法において、指示詞やフィラーの両方の用法を持っているということが観察できる。また、「発話編集中断」が相手の質問に答えた時、使用されるのは一般的であると考えられている。

発話編集中断は発話編集から派生した用法であると考えられる。まず、言語を編集しようとして、編集する内容は出てくる場合もあり、出てこない場合もある。出てこない場合、フィラーを使用し、発話編集中断という心内行動が行われる。そうすることによって、直接に「わからない」や「答えたくない」と回答するよりも、発話場面和らげる効果が生じる。その用法は

発話編集という用法の延長線上のものであると考えられる。それについての検討は本稿の目的ではないので、説明は次回に譲る。

音声上で、“这个”が代名詞として使用される時とは異なり、[zhege]³と発音し、語末の母音は[e]で長母音となる場合が多い。出現場所は文頭か、または、文中である。独立語として使用される。

3.2 話題転換

(3)(ゲストの骨董品のコレクションについてビデオで紹介する。紹介が終わった後、司会者は下記の会話を)

主持人: 这个, 说了半天收藏了啊, 真的是, 这里头的事说不完。

艺术人生 十年 王刚
(媒介言語コーパス)

(訳文)司会者: ところで、先程から、コレクションの事でずいぶん話しているが、この奥深さはなかなか語り尽くせないね。

司会者はゲストを招待し、ゲストの骨董品のコレクションという話題を終了させ、次の話題に入ろうとする時、フィラー“这个”を使用する。

二つの話題をうまく転換する際、話し手にとって、他の話題に転換するため、心的余裕を持たせる機能や、聞き手にとって、これから、別の話題に移すという合図を与えるという談話上の機能があるだけでなく、二つの話題をうまく連続するコネクターとしての接続詞という文法上の機能もあると考えられる。

他の話題に転換するのは、話し手がほかの発話内容を表出するということであり、その際、フィラーは発話内容の開始マークとしても考えられる。例(3)において、“这个”はフィラーとして考えられるし、また、機能語としても考えられる。それは指示詞からフィラーへと変遷する間に出てきた中間的過程であると考えられる。

フィラーを使用し、発話内容を編集する際に、心的余裕を持たせるということや、「話題転換」の際に、心的余裕を持って、他の話題に転換するということとの類似性を覗ける。

3.3 発話編集⁴

「発話編集」をする際に、どのような心的行動を取るか、または、どのような要素を利用し

て、「発話編集」するかを問題としている。

発話とは、話者は自分の発話したい内容(意図)を言語化し、表出するという過程である。フィラーとは、内容語という実質的な意味を表すより、話者の心的表情を外部世界に表す音声表記であると考えられる。フィラーを使用し、「発話編集」をする際に、話し手はまず、編集したい内容(意図)を検索コードとして、頭に入力し、検索指令を受け、頭の中で検索作業を行い、言語(発話)を表出する。

3.3.1 長期記憶⁵

(4)王一鳴: 珠三角的特点, 大家如果仔细观察一下, 就是珠江口是个三角形, 珠江口的东岸就是包括深圳、东莞、惠州这一块相对来说, 它的经济密度要高得多, 相对也发达, 西岸我们说珠海、江門这个.....

刘戈: 中山。

王一鳴: 中山。

中央电视台题目[今日观察]2009 中国经验:

大手笔 新动力_财经台

(媒介言語コーパス)

(訳文)王一鳴: 珠江デルタの特徴と言うと、皆さん良くご存知のように、珠江デルタの入り口の形は三角になって、珠江デルタの東側に、深圳、東莞、惠州を含み、経済発展が著しく、相当に発達しており、西側に我々が珠海と呼ぶ、江門ええと...

劉戈: 中山。

王一鳴: そう、中山。

上の例文はあるトーク番組で、司会者とコメンテーターが「港珠澳大桥」を珠江デルタで立てる原因を検討している場面である。コメンテーター(王一鳴)はその理由を説明するために、まず、珠江デルタという場所を紹介する。次に、珠江デルタはどういう地域から成り立っているかを紹介している。しかし、それについての知識は一時的に失念したので、フィラーを使用し、発話内容を検索する。

発話したい内容「中山」は話し手にとっての一般常識として、話し手の長期記憶の中で格納している。指示詞系のフィラー“这个”は検索コードとして、記憶データベース⁶の中で、発話内容を呼び出す。

ここでは、フィラー“这个”を使用するのは自

然であり、フィラー“那个”を使用するのは不自然である。ここでは、発話者は珠江デルタがどういう地域から成り立つかということを一時的に話題にして検討している。検索する内容(中山)は今話している中心的な内容(話題)と密着しており、その一部分である。よって、編集内容(中山)は話し手にとって心理的に近い。そのため、ここでは近称指示詞系におけるフィラー“这个”の使用は自然で、遠称指示詞系におけるフィラー“那个”の使用は不自然であると考えられる。

3.3.2 新規記憶⁷

(5)王剛：她知道我单身，还就是打你刚才那儿，我这还得谢谢朱军，谢谢《艺术人生》。咬牙切齿的，捶胸顿足的，她才知道我是这个，这个，这个什么，我是单身。

艺术人生 十年 王刚
(媒介言語コーパス)

(訳文) 彼女は私が独身ということは、以前、君から聞いてて知ってたんでしょ、朱軍と朱軍の(芸術人生)に感謝します。この番組で、朱軍は顔を歪めたり、胸をたたいたり、足をバタバタやしたりして、彼女はやっと私がその一、その独身だということが分かった。

上の例は「芸術人生」というトーク番組での台詞である。司会者は朱軍である。今回「王剛—10年」というテーマを立てて、ゲスト王剛を招待し、ゲスト王剛の家庭生活や趣味としての骨董品のコレクションについていろいろ話し合った。

10年前、「芸術人生」という同じ番組で、朱軍は王剛を招待し、いろいろインタビューした。当時、王剛はまだ独身で、司会者朱軍がその話を番組で公開した。王剛の今の妻はその当時の番組から王剛がまだ独身であるということを初めて知り、それをきっかけとして、新聞で登録した王剛のメールアドレスに手紙を書き始めた。それから、二人はつきあいを始めた。

上の例文では、王剛と今の妻は恋をし始めるきっかけ、すなわち、朱軍や「芸術人生」を紹介している。まず、話し手は自分が「独身」(例文で、点線で表記している)ということを表出し、続いて、朱軍に対する感謝を表している。また、もう一回自分が独身であったことを言おうと思

って、一時的に思い出せない(もしくは、より適切な言語表現を考えている可能性もある)、フィラーを使用し、思い出すために時間を稼ぐ。

フィラーを使用し、検索する内容「独身」という言葉は、すでに前文で出てきたことで既出要素である。今回は、「独身」を再提出する時、一時的に失念したので、フィラー“这个”を使用し、前の文脈で出てきたものに依存して検索する。

フィラーを使用し、検索する内容が「再提出型」の場合は全てフィラー“这个”を使用するわけではない。その原因を究明する前に、まず、下記の例を見てみよう。

方は王とは友達関係で、方が満州語「ci」⁸と日本語の「より」について小論文を書けるかどうかについて、友達王と相談に乗っている。王はそれについていろいろ自分の意見を述べている。また、王は満州語の「ci」を言おうとした時、一時的に表出できない、フィラー“那个”を使用し、言語検索する。

(6)你刚才说的那个...那个满语怎么读来着?

(訳文)：さっき言った、その一、その一満州語の発音はなんでしたっけ。

(作例)

上の例文では、方はまず自分の研究したい内容を紹介している。つまり、満州語の「ci」と日本語の「より」についての類似点を紹介している。そのあと、そのテーマはいけるかどうかについて、王に相談している。また、王は満州語における「ci」をもう一言言おうとした時、失念した。そして、王はフィラーを使用し、発話内容を検索する。

ここでは、発話者は表出したい内容満州語「ci」は、すでに先の文脈で出てきたことで、既出要素(再提出型)である。ここでは、“这个”の使用が不自然であるのに対して、フィラー“那个”の使用は自然である。

なぜ、例(5)と例(6)は両方ともフィラーの検索内容は最提出型であるにも関わらず、フィラー“这个”と“那个”は自由に交換できないのか。その原因は下記のように考えられる。

それは、話し手は心内で情報の処理仕方には差があるからである。つまり、話し手はその情

報をどういふふうにとるかは問題である。

例(5)では、検索する内容は聞き手より話し手と関わり深いので、心理的に近いと認識し、フィルター“这个”を使用するのは自然である。

例(6)では、検索する内容は話し手より聞き手と関連深いので、話し手にとって、詳しくない情報で、心理的に遠い。よって、ここでは、遠称指示詞から変容しフィルター“那个”を使用するのは自然である。

中国語における指示詞の基本的な使い分けは話し手を中心に、「遠近」を区別する。そういう用法はそのまま、フィルターの使用法で保持し、フィルター“这个”と“那个”も心理的に「近遠」により、使い分けする。

3.4 文の編集⁹

3.4.1 慎重に文を編集すること

(7)記者：当时签合同的时候没有想到自己会欠这些工程款吗？

王峰：这个.....现在的确实欠人工工资的，这个是肯定的。

人民广播电台 栏目：中国之声“新闻纵横”

(媒介言語コーパス)

(訳文)記者：契約する時に、業者にこんなに給料未払いになるとは思わなかったんですか？

王：それはですね。いまは確かに給料を払ってない。それはそうです

王峰は法倉市の交通局副局長である。政府予算を用いて道路工事を施している。しかし、雇った人の給料をずっと言い訳して、払っていない。記者はそのことについて王峰にインタビューをし、工事を施す前に、「業者にこんなに給料未払いになるとは、思えなかったんですか？」ということ聞いた。王峰は経済上の不正か、または、ほかの原因で、その質問に対して、一時的に答えられないので、フィルター“这个”を使用し、場を救う。また、談話上の言いにくさも生じる。

ここでは、王峰は突然聞かれた質問なので、事前に用意するわけではない。よって、聞かれた後で、発話内容を組み立てる。また、自分に対する質問なので、フィルター“这个”を使用し、相手の質問を引き取り、自分と関連深いことを

相手に示している。

公的機関で働く方峰は記者の前で話すことに慎重にならなければならない。よって、話し手(王峰)はことば遣いに十分気をつけないと、誤解されたり、失言したりすると、とんでもないことを招く。よって、フィルターを使用し、適切な言い方を探し、回答内容を慎重に工夫するという時間を取ると考えられる。

次は、発話内容を事前に用意した例文を見てみよう。

(8)主持人：好，欢迎各位继续关注，今天我们是谈到了这个...明天即将要在新闻发布会上公布的这个...有关治堵一些新的措施和条令，参与的朋友非常多，我们来看一下。

[今日观察]治堵切勿“添堵”

(媒介言語コーパス)

(訳文)司会者：はい、皆さん引き続き番組をご覧ください、今日は、その、明日のニュースで発表される、その、ラッシュを改善するための条令について話しました。これに関与する方が非常に多いですが、見てみましょう。

上の例文では、司会者はコメンテーターを招待し、北京でのラッシュ問題を改善するために、車の購入について限定措置条令を翌日のニュースで発表するということについて議論している。

上の例文は中国中央電視台で放送するもので、内容は時事問題である。番組を順調に進めるために、司会者は事前に発話内容を用意することが想像できる。つまり、司会者は発話内容の筋をすでに頭に納めている。

ここでは、司会者はフィルターを使用し、すでに用意した発話内容(漠然とした内容)をさらに慎重に考え、洗練された用語を表出すると考えられる。また、検索する内容は話し手にとって話し手の領域(発話者の今話している話題)に属する内容で、心理的に近いので、すぐ表出できる語感もある。

話し手はフィルターを使用し、発話編集する際に、ある発話内容を漠然と頭に入力し、そのイメージを言語化(組み立て・推論・演算・製作など)をして表出するか、またはすでに組み立てた内容をさらに外部的な要因で洗練された言語を

編集するかは明白な境界はない、それは今後の課題にする。

3.4.2 発話権を強調すること

(9)志国：《关于本人不再接受任何领导职务聘任的请求报告》，爸，您这...

傅明：这个—昨天我考虑了一整夜，啊，我这个岁数，这个脑筋，这个精力恐怕不适宜担任过于繁重的工作了。

电视剧《家有儿女》

(媒介言語コーパス)

(訳文)志国：「私、傅明に対する管理職辞退願」、お父さん、これは...

傅明：まあ、昨日、一晚寝ずに考えたよ。

まあ、こんな年だし、気力も体力も衰えたし、こんな責任重大な仕事は無理だな。

上の例文はあるテレビ番組の台詞である。傅明は志国の父で、いつもえらそうな口調で話し(表情などから判断できる)、フィラー“这个”を他人より頻度が高く使用するという言い癖がある。今回は誰も責任職種を傅明に任せるつもりもない。しかし、傅明は自分で勝手に「私、傅明は全ての管理職辞退願」という報告書を書いて、会社に提出しようとしている。

ここでは、フィラー“这个”を外しても、文の意味が通じる。“这个”を指示詞として考えると、非文になる。なぜかという、指示詞の後には述語が必要であるからである。指示詞として使用される場合は、「关于这个事情，昨天我考虑了一整夜(このことについて、昨日一晚寝ずに考えた)」という文になるべきである。話し手(傅明)は“这个”を発音する時、後ろの「个」の「e」という母音を伸ばして発音する。よって、“这个”は指示詞ではなく、フィラーとして考えられる。フィラー“这个”は独立語として、文頭だけではなく、文中にも出現できる。

この例文では、話し手(傅明)はフィラー“这个”を使用し、フィラー“这个”の持っているニュアンスを利用し、表情などを加えて、偉そうなふりをする。

フィラー“这个”の持っているニュアンスについて下記のような理由が考えられる。

フィラー“这个”は発話内容はすぐ表出できる状態で使用され、自分と関わり深いことを強調

する。よって、発話の優先性や会話の主導権を強調するという効果を生み出すのである。

上の例文では、話し手(傅明)はフィラー“这个”を利用し、自分の発話内容の優越性を強調し、わざと自分がえらい存在だと強調している。

また、同じ指摘は殷(2009)にも見られる。殷(2009)では、「“这个”更多的用于上对下的话语中(“这个”は上の人が使用するの是一般的であろう)」と指摘している。

フィラー“这个”目上の人が下の人に対して、話す場合に使用される。それは、近称指示詞系フィラー“这个”が自分の発話主導性を強調するうちに、生み出された偉そうな口調ためであると考えられる。

また、フィラー“这个”の使用において、フィラー“那个”より、割り込みやすい。それは相手が発話権を奪うために、ターンを取り、割り込むからであると考えられる。

フィラー“这个”を使用し、すべて、偉そうな口調を出すわけではなく、特定の場目でそういう印象を与えることがある。それは、話し手の口調とか、表情などを場面の状況から判断できる。

また、フィラー“这个”は発話権を主張するのは下記の例が挙げられる。

(10)马光远：我觉得立法也很重要，如果说这个.....(以前)

主持人：你都没有立法作为保障的话，严从哪儿来呢。

[今日观察]醉驾有罪

(媒介言語コーパス)

(訳文)馬光遠：法律を立てるのは大事だと思う、その...以前...

司会者：保証がなければ、厳めしくもできないでしょう。

上の例文は馬光遠が「我觉得立法也很重要，如果说」と発話をし、言い淀んだ後フィラー“这个”を使用する。続けて発話しようとした時、相手に割り込まれた。

なぜかという、発話者はフィラー“这个”を使用した時、発話権を主張し、これから発話することを示す合図である。相手(司会者)はそれを獲得し、相手の発話を聞くより、自分の発話をしたい時、発話権を奪うために、発話者がフィ

ラーを使用し、続けて発話したい時、割り込んだ。

串田(1999:130)はフィラーの最中には、「むやみに話しかけないことが暗黙のルールとなっている」と指摘している。

しかし、中国語における、フィラーの使用には、かえってフィラー“这个”の使用で、割り込まれた。遠称指示詞系フィラー「那个」はそういう現状を持たない。

4. 結論

本稿では、以下の結論を導いた。

フィラー“这个”に関する使用法は話し手の心内行動により、四つに分けられている。それぞれは「発話編集中断」と、「話題転換」,「発話編集」と「文の編集」である。

発話の編集を編集しようとしても、出てこない場合もある。それを原点として、発話編集中断という結果になる。発話の編集とはフィラーの使用により、話し手が心的余裕を持たせる。心的余裕を持たせるということを引きかけとして、「話題転換」という用法を生み出す。

- ① 共同注意という観点から言うと、文脈指示詞は指示対象に対して聞き手に注意を喚起する。フィラーの場合では、これからの発話内容に対して、聞き手の注意を呼び起こす。
- ② フィラーの使用法はコンテキストにより、フィラー“这个”の使用法を決める。“这个”の使用はすべて目上の人を使用するわけではないということがわかった。
- ③ 指示詞“这个”からフィラー“这个”へと変遷していくうちに、機能語(接続詞)という中間的な機能を持つ形式が現れる。

注

1. 「媒介言語コーパス」とは、番組やトーク番組により言語化されたコーパスである。本稿では、断っていない限り、全ての用例は媒介言語コーパスから抽出したものである。媒介言語コーパスに関する中国語に対応する日本語の翻訳は筆者によるものである。本稿での全ての訳文は日本語母語話者に修正してもらったものである。

2. 発話編集中断とは、話し手はフィラーを使用する際に、相手の質問などに対する発話編集という心内作業を中断するということである。
3. 中国語の音声記号ピンインである。
4. 「発話編集」とは、定延・田窪 1995 の用語(言語編集)を変形し、継承して使用する。
5. 長期記憶は(金水・田窪 1996b:263)から引用した言葉で、獲得した情報を長い時間を経て、すでに頭に格納した知識を指す。
6. 記憶データベースとは、長期記憶と新規記憶がある。長い時間を経て、外的要因を受けずに表出できるものを長期記憶、文脈や現場の情報などにより新しく臨時的に格納したものを新規知識と呼ぶ。
7. 新規知識は現場や文脈などで新しく獲得した情報を指す。
8. 「ci」満州語における音韻体系における読み方である。
9. 文の編集とは記憶データベースなどの要素により、推論したり、演算したり、発話したい内容を整理したりするということである。

引用文献

- [1]蔡嘉綾(2009).「日中両言語の自然談話データを用いた会話の対照分析—フィラーの使用を中心に—」
- [2]定延利之・田窪行則(1995).「談話における心的操作モニター機構—心的操作標識「ええと」「あのー」—」『言語研究』108, 74-93, 日本語学会
- [3]大工原勇人(2010).「日本語教育におけるフィラーの指導のための基礎的研究—フィラーの定義と個々の形式の使い分けについて—」博士論文
- [4]田窪行則・金水敏(1996).「複数の心的領域における談話管理」『認知科学』Vol.3, No.3, 59-74, 日本認知科学会
- [5]田窪行則・金水敏(1997).「応答詞・感動詞の談話的機能」音声文法研究会(編)『文法と音声』くろしお出版, 257-279.
- [6]堤良一(2012).『現代日本語指示詞の総合的研究』, ココ出版, 192-218.
- [7]郭风嵐(2009).「北京话话语标记“这个”、“那个”的社会语言学分析」《中国语文》, 429-437
- [8]殷树林(2009).「话语标记“这个”, “那个”的语法化和使用的影响要素」《外语学刊》, 92-96
- [9]吕叔湘(1980).《现代汉语八百词》.商务印书馆

Abstract

Previous studies have paid much attention on the Japanese fillers, while Previous studies have paid little attention on the Chinese fillers. In this paper, cognitive research methods was employed to argue the classification of Chinese Filler “zhege”

(受付日：2017年7月31日，受理日：2017年9月5日)

陳 海濤 (ちん かいとう)

現職：九州大学・芸術工学研究院テクニカル・スタッフ

現在は「日中文脈指示詞に関する体系的研究」について研究を行っている。